［証券コード7979］



京都本社“SMILE FACTORY 匠(TAKUMI)”(2026年3月竣工)

2027年3月期 第1四半期
決 算 説 明 資 料

2026年8月7日開催　説明会用資料

株式会社松風

2026年8月5日

©SHOFU INC. All Rights Reserved.

目次
Agenda

1 2027年3月期 第1四半期 業績の概要

2 2027年3月期 通期業績見通し

3 Topics

Appendix

1

2027年3月期 第1四半期 業績の概要

決算サマリー情報

2027年3月期　第1四半期　業績

売上高　10,788百万円（海外売上高比率 58.7%）
営業利益　1,942百万円

- 売上高は現地通貨ベースで計画比1.0%増と、おおむね計画どおりに進捗。前年同期比では現地通貨ベースで7.8%増、円ベースで13.5%増
- 国内ではCAD/CAM化工品や充填修復材が伸長。海外では中国・インドの充填修復材や欧米・アジアのセメント類が伸び、アジア・オセアニアを中心に好調に推移
- 営業利益は増収効果に加え、前期に発生した米国関税の還付約2.4億円が原価低減に寄与し、前年同期比30.0%増

2027年3月期　業績予想

売上高　42,958百万円（海外売上高比率 59.0%）
営業利益　6,003百万円

- 既存主力製品（充填修復材・CAD/CAM関連材料）の拡販に加え、新製品・レジンセメントの本格展開により増収を計画
- 中国市場の重要性を維持しつつ、北米・欧州・インド等での成長機会拡大を推進
- 生産・供給体制、人材、研究開発への投資を継続しながら、売上高・営業利益は過去最高を更新予定
- 米国関税・中東情勢等の外部環境変化には機動的に対応

株主還元

- 配当方針：　連結ベースでの配当性向40%以上、DOE3.0%以上
- 2027年3月期年間配当予想：　67円/株　（第2四半期末：39円/株、期末：28円/株）

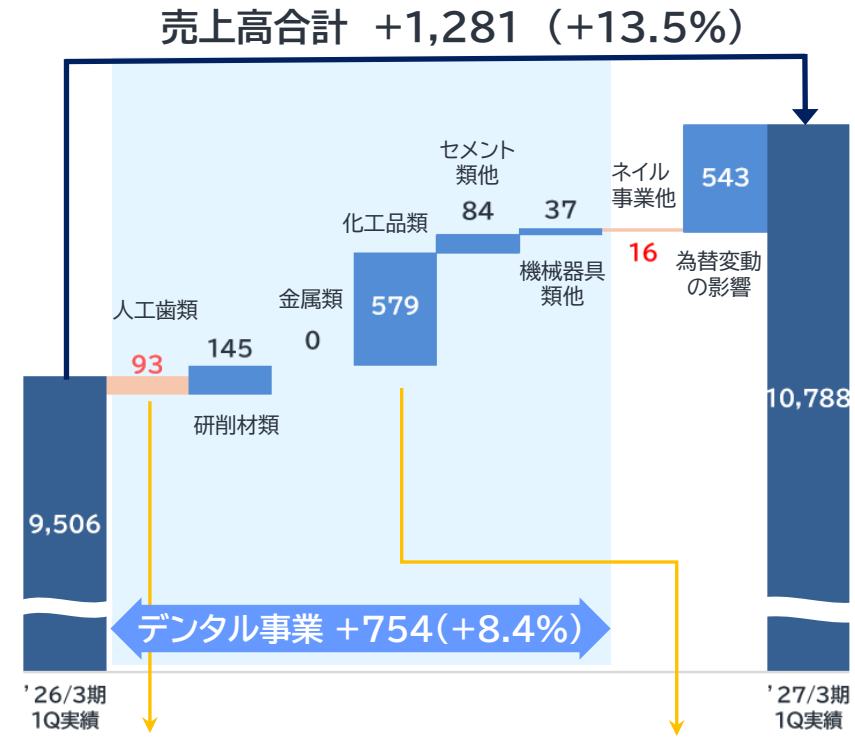
当期業績の概要

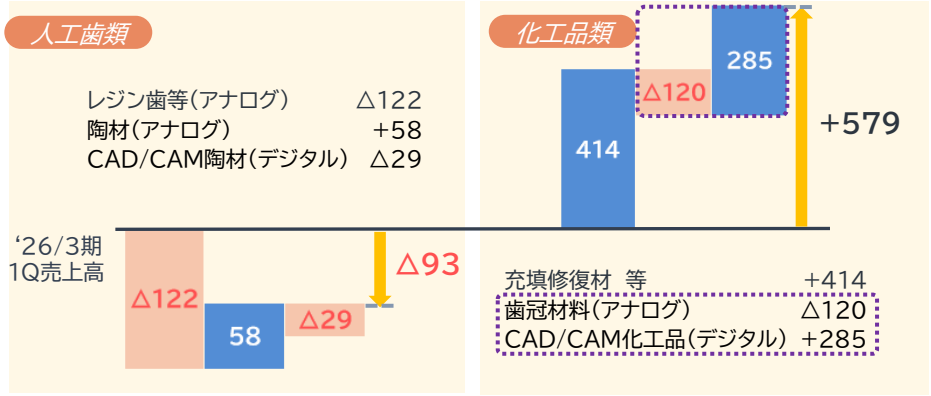
単位：百万円、％

	2026/3期 1Q実績		2027/3期 1Q実績		対比		2027/3期 通期予想	
	金額	（対売上率）	金額	（対売上率）	金額	（率）	金額	（進捗率）
売上高	9,506	（100.0）	10,788	（100.0）	1,281	（13.5）	42,958	（25.1）
（国内売上高）	3,968	（41.7）	4,460	（41.3）	492	（12.4）	17,628	（25.3）
（海外売上高）	5,538	（58.3）	6,327	（58.7）	788	（14.2）	25,330	（25.0）
売上総利益	5,785	（60.9）	6,720	（62.3）	934	（16.2）	26,072	（25.8）
（販売費及び一般管理費）	4,290	（45.1）	4,777	（44.3）	486	（11.3）	20,069	（23.8）
営業利益	1,495	（15.7）	1,942	（18.0）	447	（30.0）	6,003	（32.4）
経常利益	1,484	（15.6）	2,074	（19.2）	590	（39.7）	5,890	（35.2）
当期純利益	854	（9.0）	2,146	（19.9）	1,292	（151.3）	4,756	（45.1）
1株当たり当期純利益	24.03		60.28		36.25		133.66	
ROE	1.9%		4.3%		2.4%		9.6%	
為替レート								
米ドル	145.19		160.51		15.32		150.00	
ユーロ	164.37		185.45		21.08		170.00	
中国人民元	20.98		22.57		1.59		20.00	

*為替変動の影響額：（前期対比）売上高+543百万円
*表中の当期純利益とは「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す

製品分類別売上高＜前期対比＞





単位：百万円

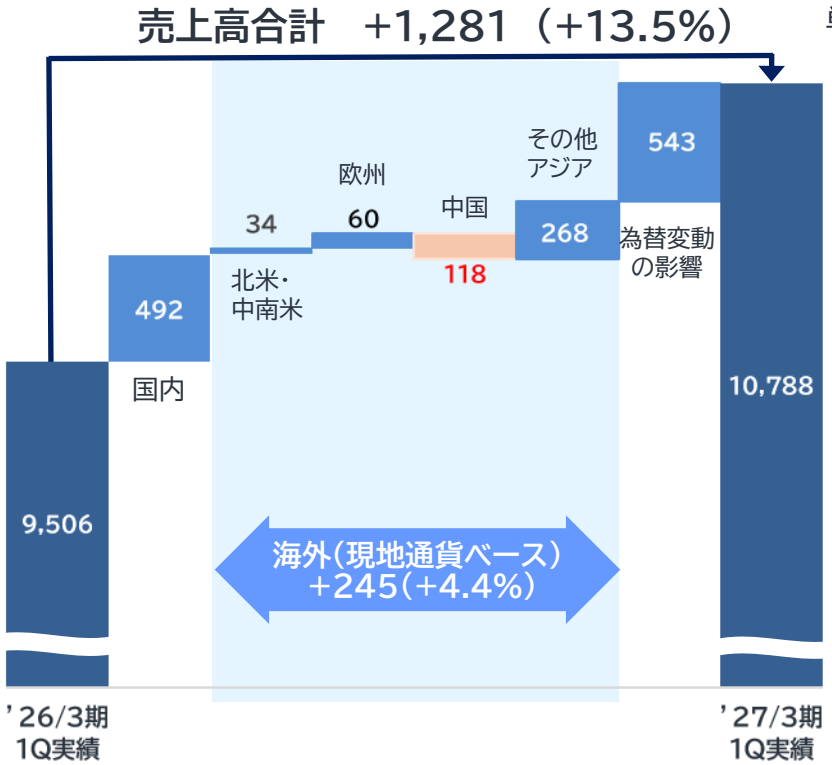
	2027/3期 1Q		前期比	
	実績	（売上構成比）	円ベース	為替影響除く
人工歯類	1,877	17.4%	1.8%	△5.1%
研削材類	1,613	15.0%	17.3%	10.6%
金属類	45	0.4%	0.4%	0.4%
化工品類	3,998	37.1%	25.2%	18.1%
セメント類他	973	9.0%	15.8%	10.1%
機械器具類他	1,738	16.1%	4.4%	2.3%
デンタル事業	10,247	95.0%	14.3%	8.4%
ネイル事業他	541	5.0%	0.1%	△3.0%
合計	10,788	100.0%	13.5%	7.8%

人工歯類
中東向けを中心に陶材が伸長したが、レジン歯等の減収を吸収しきれず減収

化工品類
歯冠材料は低調に推移したものの、充填修復材が安定的に伸長。国内向けCAD/CAM用レジンブロックも増加し、増収

セメント類
新製品の投入に加え、前期から続いた流通在庫の調整が一巡し、増収

地域別売上高＜前期対比＞



単位：百万円

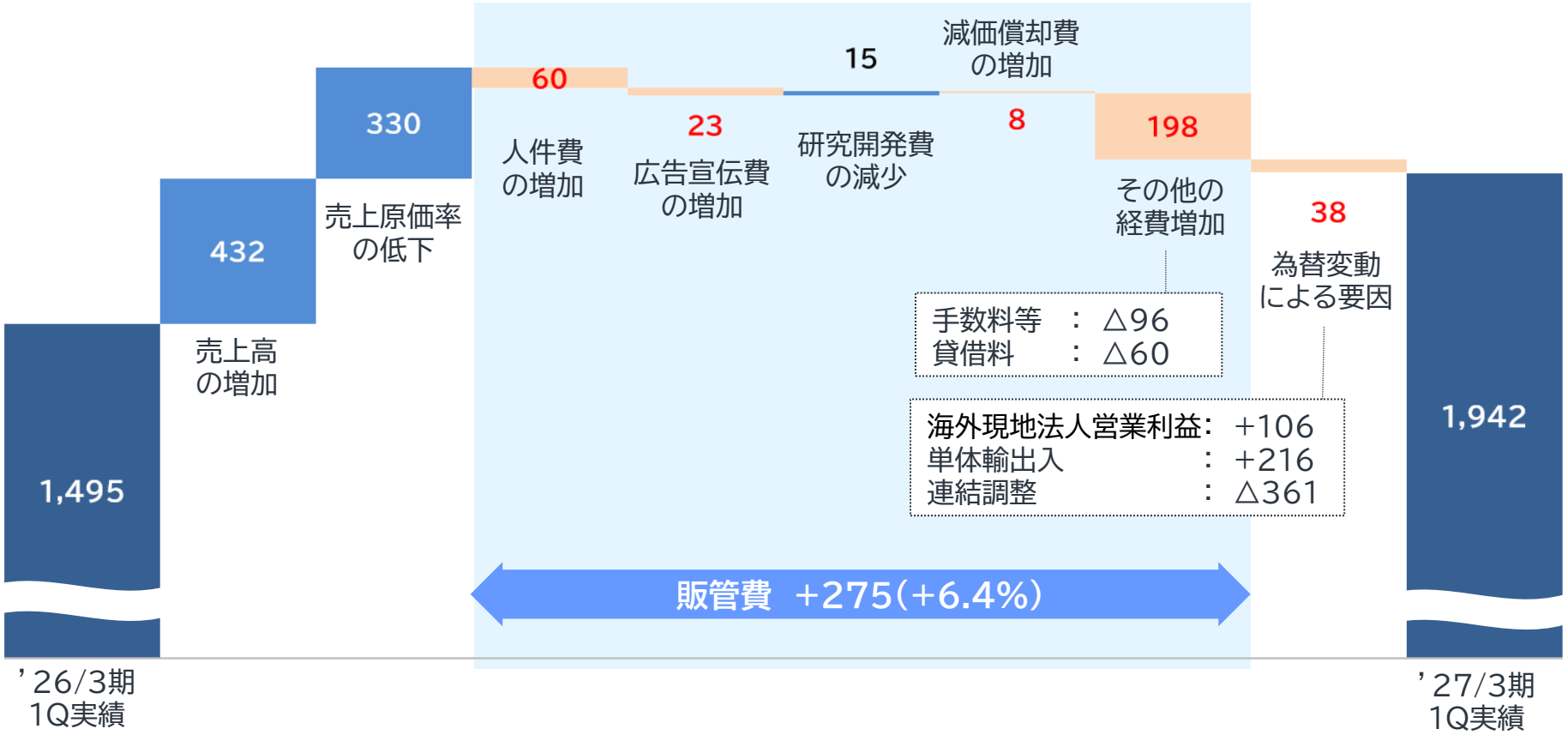
	2027/3期 1Q		前期比	
	実績	（売上構成比）	円ベース	為替影響除く
国内	4,460	41.3%	12.4%	12.4%
海外	6,327	58.7%	14.2%	4.4%
北米・中南米	1,421	13.2%	13.8%	2.8%
欧州	2,195	20.3%	16.2%	3.2%
中国	1,558	14.4%	△0.5%	△7.5%
その他アジア	1,152	10.7%	38.3%	32.2%
合計	10,788	100.0%	13.5%	7.8%

※欧州には中東アフリカ地区を含む

- **国内**は、中東情勢の不透明化や一部同業他社の出荷制限を背景に、期初に在庫確保需要が発生。充填修復材・CAD/CAM用レジンブロックが伸長
- **北米・中南米**では新製品のセメント類を投入。売上規模は限定的ながら、前年同期比約1.5倍に拡大し、今後の成長に期待
- **欧州**では充填修復材・セメント類が伸長。セメント類は新製品効果に加え、前期から続いた流通在庫の調整一巡も寄与
- **中国**は充填修復材が伸長も、レジン歯・歯冠材料は低調。**インド**は充填修復材・セメント類・陶材が好調、**台湾**も販売体制見直しにより改善

営業利益の変動要因＜前期対比＞

単位：百万円

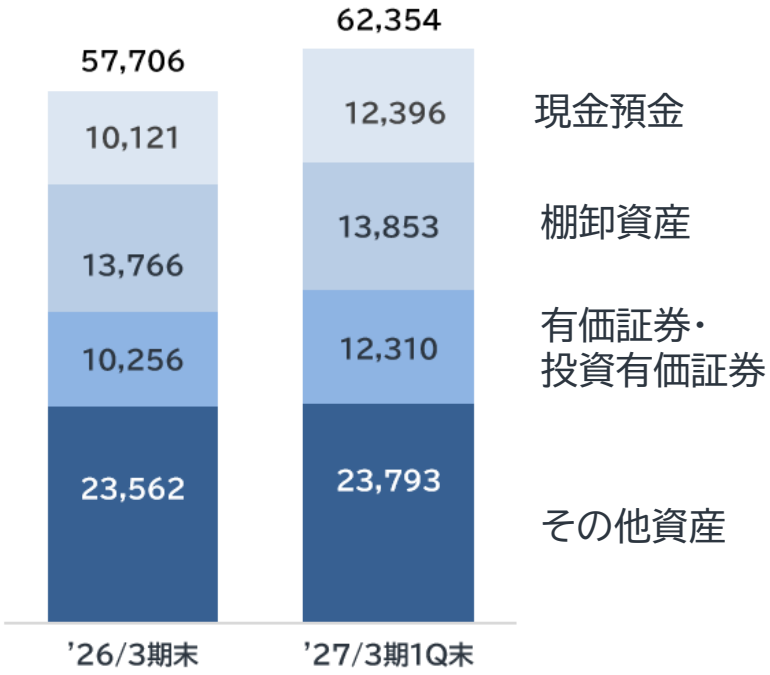


- 売上原価率は、米国関税の還付約2.4億円に加え、良品率の向上や新工場での生産効率化が寄与し、低下
- 国内外での人員増強により人件費は増加。研究開発費は前年同期比で減少したものの、計画どおりに進捗
- 海外在庫量に大きな変動はないものの、未実現利益にかかる為替変動のマイナス影響が発生

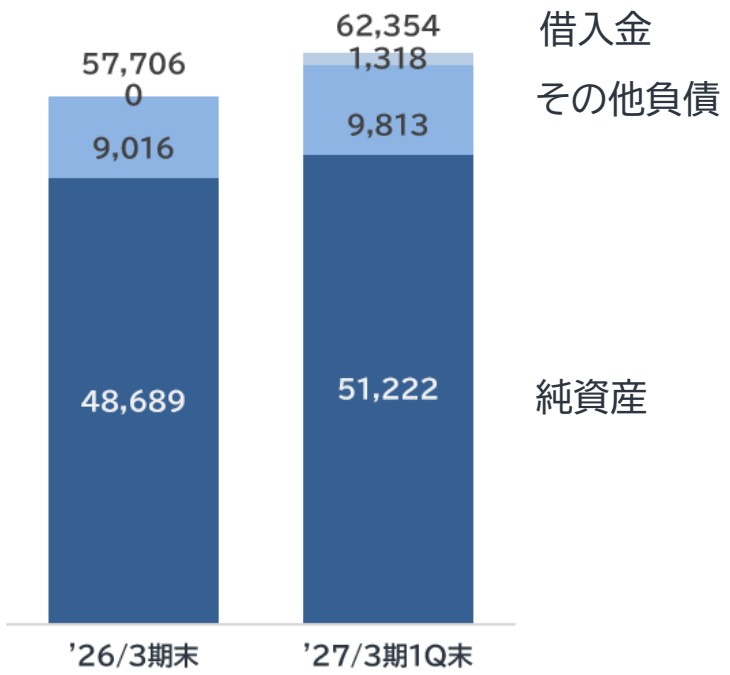
貸借対照表

単位:百万円

総資産



負債・純資産

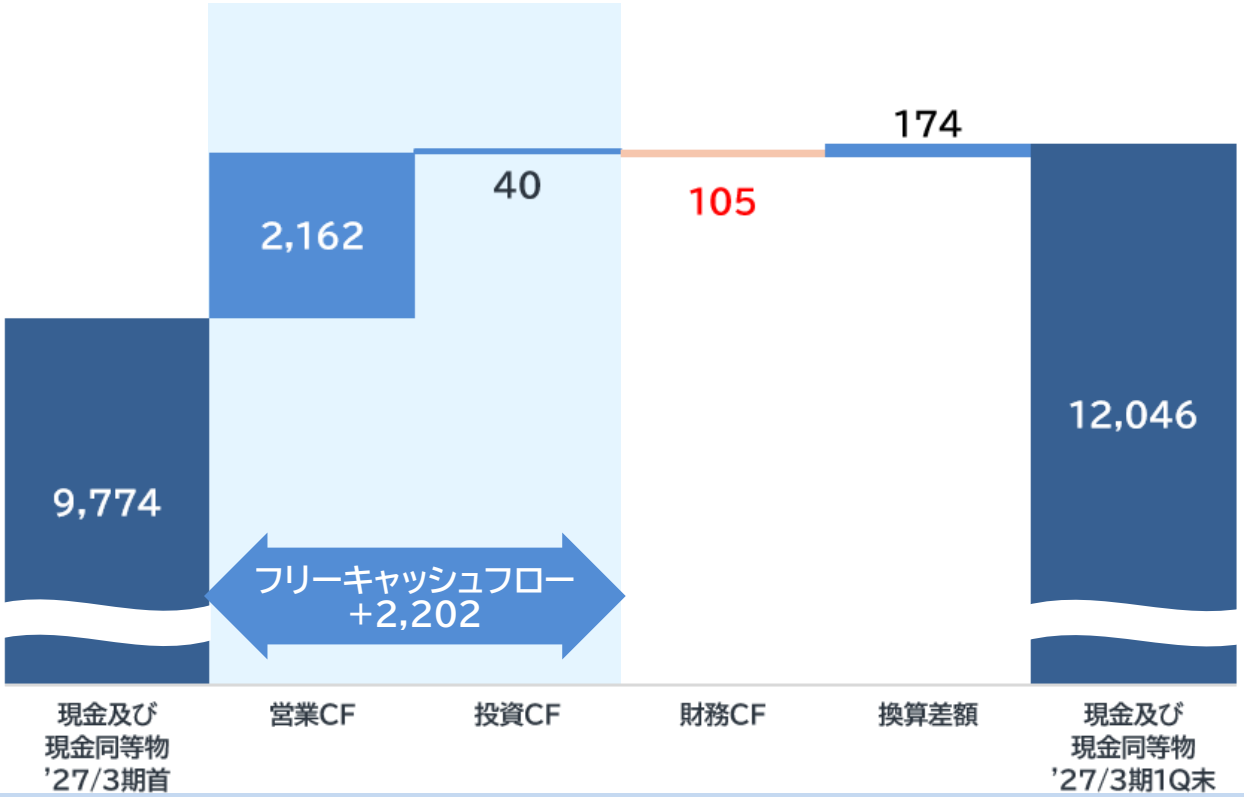


高い自己資本比率(82.0%) を維持。資本効率を意識した経営の実現を目指す

- 資産は銀行借入による現金及び預金の増加に加え、有価証券・投資有価証券の時価上昇により増加
- 負債は、長期借入金の計上や繰延税金負債の増加を主因として増加
- 純資産は、利益剰余金およびその他有価証券評価差額金の増加により増加

キャッシュフロー計算書

単位：百万円



営業CF	
税引前純利益	+3,199
減価償却費	+322
法人税等の支払	△1,169
棚卸資産の増加	+78
投資CF	
投資有価証券の売却による収入	+1,168
有形固定資産取得による支出	△1,476
補助金の受取額	+478
財務CF	
長期借入による収入	+1,400
配当金支払	△1,387

- **営業CFは**、税引前利益の計上を主因に2,162百万円の収入。棚卸資産の増加影響は限定的
- **投資CFは**、生産施設・設備を中心とする有形固定資産の取得による支出があった一方、「中堅・中小企業の賃上げに向けた省力化等の大規模成長投資補助金」の受取や投資有価証券の売却収入により、40百万円の収入
- **財務CFは**、グループ内の設備投資資金として長期借入れを実施した一方、配当金を支払い、105百万円の支出

2

2027年3月期 通期業績見通し

通期予想の概要

売上高は過去最高を更新　営業利益はしっかり伸長も、最終利益は減益を見込む

事業・成長戦略

- 全地域でバランスのとれた成長を目指し、売上高は過去最高を更新
- 海外では地域リスク低減を図りつつ、地域需要に合わせた製品販売・生産を推進
- 先進国（欧米）で強みを持つ新製品の展開を加速

利益の見通し

- 営業利益は増益を計画
- 最終利益は減益見込み
  - ➡ 前期は一時的に在庫金属を売却（製品ポートフォリオ整理）
  - ➡ 税金負担見込額が前期比で＋300百万円程度増加

外部環境・リスク

- 米国関税影響は前期と同水準で織り込み済
- 中東情勢の不透明化については現時点では織り込まず

*詳細はp.11「中東情勢の不透明化等に伴うリスクと対応状況」ご参照

当初の中期経営計画数値とは乖離（下振れ）が発生しているものの、中長期の持続的成長に向けた施策を着実に推進

中　長　期　的　な　取　組　み



- 中期経営計画から長期ビジョンに向けた取組みの推進
- 生産・供給体制の再構築、人材の登用・育成など中長期の企業価値向上を支える土台作りを推進
- 各国地域における薬事規制や政策変更に柔軟に対応し、事業の空白期間を生じさせない仕組み作りを進める

中東情勢の不透明化等に伴うリスクと対応状況

現時点で生産・供給に重大な影響は発生していないが、幅広いリスクを認識し、早期対応・影響最小化に努める

想定される主なリスク

物流の停滞
輸送遅延・混乱によるリードタイム長期化

包材・消耗品の供給不安・価格上昇
ストレッチフィルム、容器、手袋等の供給遅延や価格上昇

一部原材料の供給不透明性・価格上昇
汎用性の高い化学製品一部における供給不安

設備投資・工場建設への影響
建設資材（塗料・断熱材・鉄骨等）の調達難・価格高騰による工期遅延・コスト増の可能性

石油由来品の価格上昇
ナフサ等の価格上昇による幅広い製品への影響懸念

現在の対応状況

主要原材料は総量計画・在庫多めに確保
化審法対象原料は必要総量を契約確保済。過去の欠品教訓を踏まえ在庫水準を高めに維持

複数購買の推進
原材料は原則2社以上のチャネルを構築。サプライヤーの分散により調達リスクを低減

代替探索・技術検証の強化
R&Dにて代替原料の探索と検証を継続

調達・在庫・生産のモニタリング強化
影響が出始めている包材・消耗品の状況を注視し、早期発注・代替検討・在庫積み増しで対応

BCP体制の強化
生産部門を中心に、関係部門連携のもと、迅速な情報共有・意思決定・対応を実施

現状（6/末時点）

- 遅延制約発生の原材料/影響製品：包材の一部で遅れが発生しているが影響は軽微
- 生産活動：継続中
- 原材料在庫：品目により多寡あり、主力原材料は安定確保
- 影響領域：一部消耗品・包材、建築資材等
- 業績影響：現時点で織り込んでいない

今後の注視ポイント

- 物流、原材料・包材の供給・価格動向
- 工事コスト・工期影響
- 規則・政策変更や地政学リスクの拡大

不確定要素は多いが、調達力強化・在庫確保・代替対応・情報モニタリングにより事業への影響の最小化に努める

主要指標比較

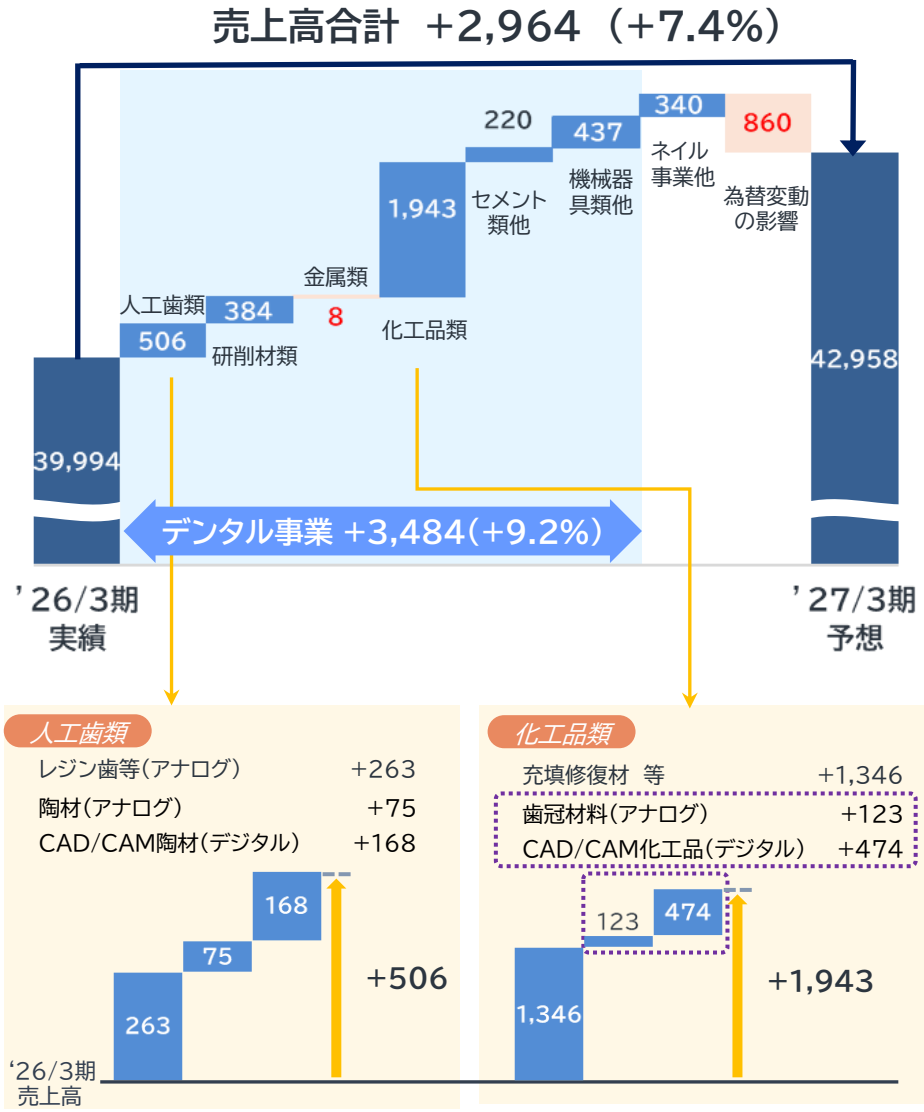
■ 2027年3月期 通期業績見通し

単位：百万円、％

	2026/3期 実績		2027/3期 予想		対比	
	金額	（対売上率）	金額	（対売上率）	金額	（率）
売上高	39,994	(100.0)	42,958	(100.0)	2,964	(7.4)
（国内売上高）	16,466	(41.2)	17,628	(41.0)	1,161	(7.1)
（海外売上高）	23,527	(58.8)	25,330	(59.0)	1,802	(7.7)
売上総利益	23,740	(59.4)	26,072	(60.7)	2,331	(9.8)
（販売費及び一般管理費）	18,513	(46.3)	20,069	(46.7)	1,555	(8.4)
営業利益	5,226	(13.1)	6,003	(14.0)	776	(14.9)
経常利益	5,859	(14.7)	5,890	(13.7)	31	(0.5)
当期純利益	4,887	(12.2)	4,756	(11.1)	△ 130	(△2.7)
1株当たり当期純利益	137.38		133.66		△3.72	
ROE	10.7%		9.6%		1.1pt	
為替レート						
米ドル	150.97		150.00		△0.97	
ユーロ	174.54		170.00		△4.54	
中国人民元	20.93		20.00		△0.93	

*為替変動の影響額（前期対比）：売上高△860百万円
*表中の当期純利益とは「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す

製品分類別売上高＜前期対比＞



単位:百万円

	2027/3期 予想	2027/3期 （売上構成比）	前期比 円ベース	前期比 為替影響除く
人工歯類	7,501	17.5%	4.5%	7.1%
研削材類	6,127	14.3%	5.6%	6.6%
金属類	181	0.4%	△4.3%	△4.3%
化工品類	15,887	37.0%	11.3%	13.6%
セメント類他	3,467	8.1%	3.5%	6.6%
機械器具類他	7,271	16.9%	5.7%	6.4%
デンタル事業	40,437	94.1%	7.3%	9.2%
ネイル事業他	2,520	5.9%	8.4%	14.7%
合計	42,958	100.0%	7.4%	9.6%

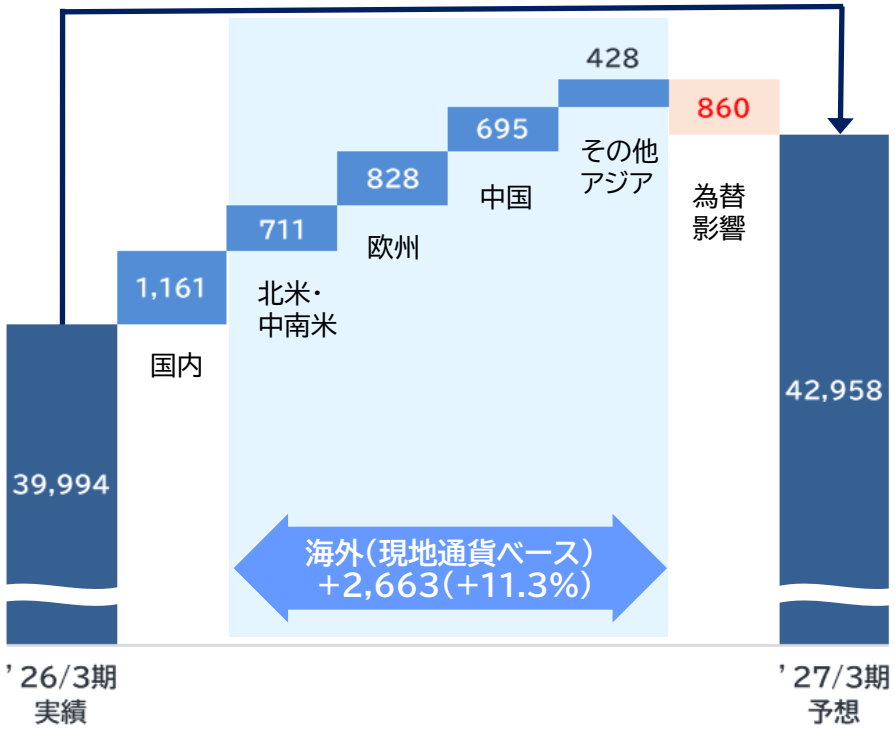
人工歯類
新興国市場での販売強化に加え、CAD/CAM陶材の成長加速により増収を見込む

化工品類・セメント類
充填修復材・CAD/CAM関連材料の拡販に加え、レジンセメントの本格展開により成長を見込む

研削材類
各国で安定成長を見込み、ベトナム製研削材の普及拡大を推進

地域別売上高＜前期対比＞

売上高合計 +2,964（+7.4%）



単位：百万円

	2027/3期 予想	（売上構成比）	前期比 円ベース	前期比 為替影響除く
国内	17,628	41.0%	7.1%	7.1%
海外	25,330	59.0%	7.7%	11.3%
北米・中南米	5,832	13.6%	12.4%	13.7%
欧州	8,946	20.8%	6.4%	9.9%
中国	6,409	14.9%	6.6%	11.6%
その他アジア	4,141	9.6%	5.8%	10.9%
合計	42,958	100.0%	7.4%	9.6%

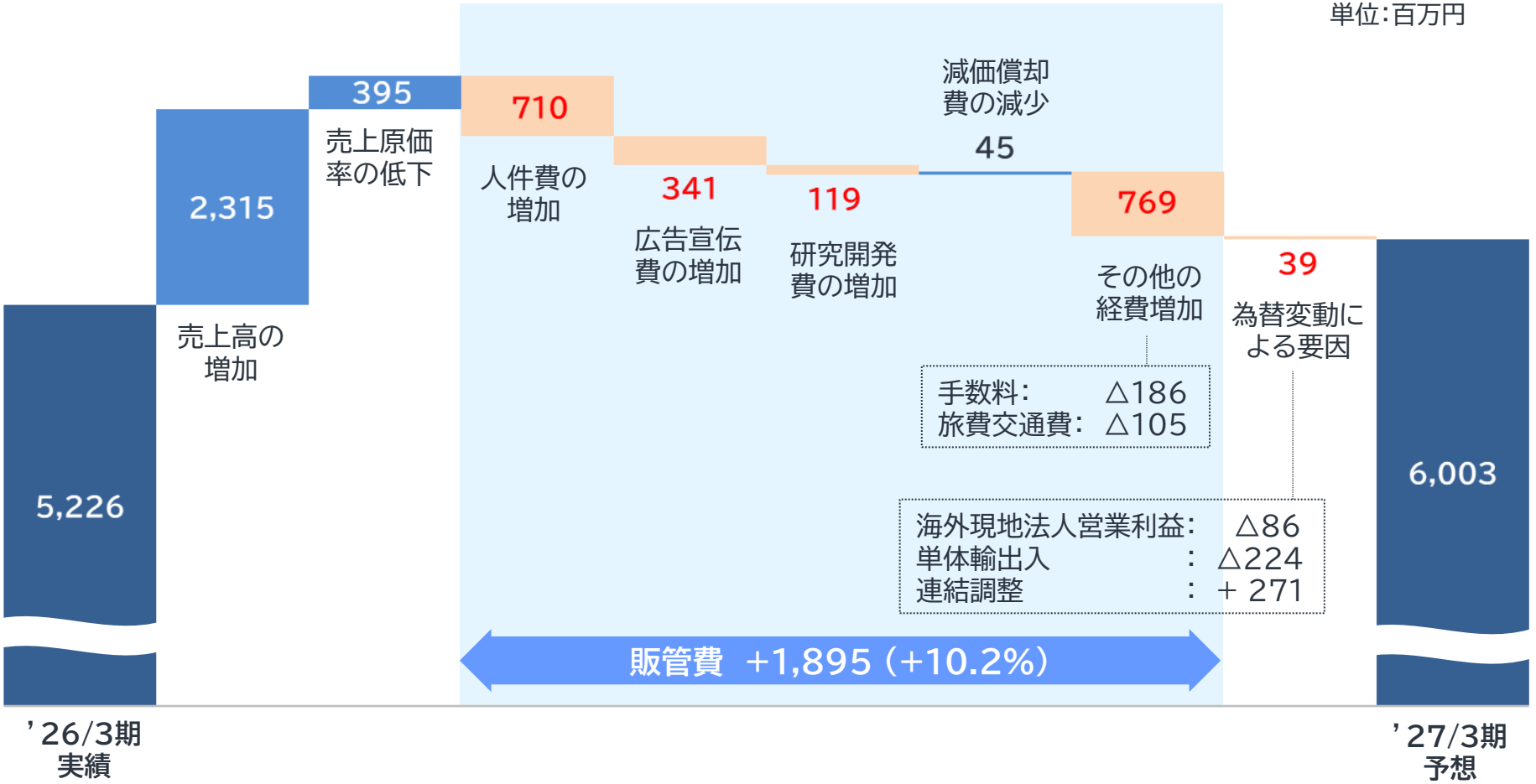
※欧州には中東アフリカ地区を含む

- **全地域**で既存主力である充填修復材の成長継続に加え、レジンセメントの本格拡販および新製品投入による成長を見込む
- **国内**ではCAD/CAM材料（PEEK）の拡販を継続。充填修復材・新製品販売にも注力
- **北米・欧州**では高付加価値製品の販売拡大を推進。**中国・アジア**では地域特性に応じた販売強化を継続
- 中東情勢、中国景気、欧州景気等の外部環境変化に注視し、機動的に対応

営業利益の変動要因＜前期対比＞

■ 2027年3月期 通期業績見通し

単位：百万円



- セールスミックス改善（化工品中心の構成比上昇）および生産効率・良品率向上により粗利益率は向上
- 事業拡大に向けた人員増強に加え、研究開発投資は継続的に強化。IDS出展等による一時的な販売促進費用も織り込む
- 本社工場再整備費用、海外拠点拡張に伴う費用増加および円高前提の為替影響を織り込み

為替変動の影響

【2027/3期予想】

単位：百万円

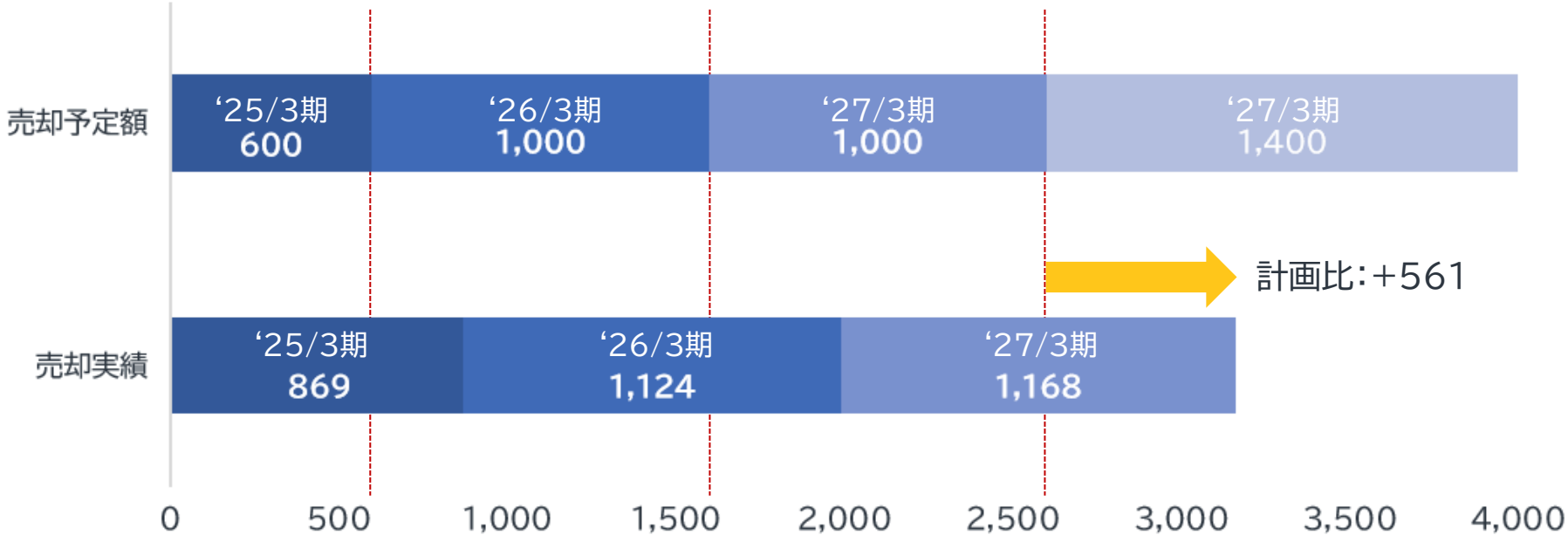
	為替レート		連結業績への影響		1円円高あたり	
	2026/3期 実績	2027/3期 予想	売上高	営業利益	売上高	営業利益
米ドル	150.97	150.00	△ 45	△ 16	△ 47	△ 21
ユーロ	174.54	170.00	△ 218	△ 48	△ 48	△ 19
人民元	20.93	20.00	△ 297	△ 217	△ 320	△ 214

- 2026/3期比較で円高想定（米ドル：前期末比円高）
- 海外売上比率は上昇傾向、円高方向への為替変動は業績にマイナス影響
（米ドル：1円円高で売上△47百万円、営業利益△21百万円）

3

Topics

政策保有株式の売却の進捗



（単位：百万円）

- 売却によって得た資金は成長投資及び株主還元に活用
- 2027年3月期第1四半期末時点での純資産に対する政策保有株式の比率は19.6%
- 2027年3月期第1四半期では、期初に保有していた7銘柄のうち、2銘柄を一部売却

成長領域における戦略的出資の実施

将来の事業機会の創出と既存事業の競争力強化に向け 成長領域における外部パートナーとの連携を推進

トレジェムバイオファーマ株式会社への出資



出資時期　2026年5月

出資方法　第三者割当増資の引受

出資先概要	▌京都大学発のスタートアップ企業 ▌歯科・口腔領域に特化した再生医療用医薬品を研究開発
出資目的	▌再生医療領域への早期関与 ▌診断・予防・経過管理分野における協業可能性の検討 ▌医科歯科連携や新規技術開発に関する知見の獲得
今後の展開	歯の再生治療を取り巻く周辺領域での協業や、新たな治療価値の創出につながる技術・デバイスの共同検討を推進

MEM Dental Technology Co., Ltd.への出資



出資時期　2026年7月

出資方法　第三者割当増資の引受

出資先概要	▌台湾の矯正材料メーカー ▌セラミックブラケット、アライナー、3Dプリンティング技術などを保有
出資目的	▌矯正歯科事業における安定供給体制の強化 ▌製品開発・事業展開における連携の深化 ▌グローバル市場を見据えた事業基盤の強化
今後の展開	同社の海外販売ネットワークと当社の国内学術ネットワークを相互活用し、両社製品の販売拡大を推進

以下のページはご参考資料として作成しております
本説明会でのご説明は省略させていただきます

Appendix

単四半期実績(直近4四半期)

単位:百万円、%

	2026/3期 2Q実績		2026/3期 3Q実績		2026/3期 4Q実績		2027/3期 1Q実績	
	金額	(対売上率)	金額	(対売上率)	金額	(率)	金額	(対売上率)
売上高	9,589	(100.0)	10,018	(100.0)	10,879	(100.0)	10,788	(100.0)
(国内売上高)	4,026	(42.0)	4,018	(40.1)	4,453	(40.9)	4,460	(41.3)
(海外売上高)	5,562	(58.0)	6,000	(59.9)	6,426	(59.1)	6,327	(58.7)
売上総利益	5,748	(60.0)	5,816	(58.1)	6,389	(58.7)	6,720	(62.3)
(販売費及び一般管理費)	4,430	(46.2)	4,824	(48.2)	4,968	(45.7)	4,777	(44.3)
*上記のうち、研究開発費	522	(5.5)	636	(6.4)	540	(5.0)	459	(4.3)
営業利益	1,318	(13.8)	992	(9.9)	1,420	(13.1)	1,942	(18.0)
経常利益	1,477	(15.4)	1,220	(12.2)	1,676	(15.4)	2,074	(19.2)
当期純利益	1,743	(18.2)	815	(8.1)	1,475	(13.6)	2,146	(19.9)
為替レート								
米ドル	146.57		149.33		150.97		160.51	
ユーロ	167.74		171.84		174.54		185.45	
中国人民元	20.53		20.60		20.93		22.57	

*為替レートは各四半期時点の期中平均

事業セグメント別売上高・営業利益

単位：百万円、％

		2026/3期 1Q実績 金額（対売上率）	2027/3期 1Q実績 金額（対売上率）	前年同期 対比
デンタル事業	売 上 高	8,965	10,247	1,281
	営業利益（営業利益率）	1,535（17.1）	2,004（19.6）	468（2.4）
ネイル事業	売 上 高	518	516	△ 2
	営業利益（営業利益率）	△42（△8.3）	△61（△11.9）	△ 18（△3.6）
その他事業	売 上 高	23	27	3
	営業利益（営業利益率）	0（4.2）	△1（△4.6）	△2（△8.8）
連結消去前合計	売 上 高	9,508	10,790	1,282
	営業利益（営業利益率）	1,493（15.7）	1,941（18.0）	447（2.3）
連結	売 上 高	9,506	10,788	1,281
	営業利益（営業利益率）	1,495（15.7）	1,942（18.0）	447（2.3）

本資料における予想は、現時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としています。

実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

株式会社　松風

〒605-0983 京都市東山区福稲上高松町11番地
TEL　075-561-1112
FAX　075-561-1227
URL　https://www.shofu.co.jp
E-MAIL　ir@shofu.co.jp

お問合せ先　総合企画部